

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10587002				
授業名	国際関係と外交課題	形態	講義	単位	2
担当教員	金 恩愛				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	月曜5限		
授業目的	国家間の政治・外交の相互作用を中心に、国際社会の基本的な構造と主要な概念を理解し、国際関係の理論的枠組みや歴史の変遷を学ぶことで、現在、国際社会が直面している外交的課題（Ex, 一国中心、多国間主義、平和など）について多角的に考察する力を養うことを目的とする。				
授業内容	国際関係論の基本概念（主権国家、アナーキー、アクター、パワー、安全保障のジレンマなど）と主要理論（リアリズム、リベラリズム、コンストラクティヴィズム）などについて学ぶ。また、国際秩序の歴史の変遷を理解するために、勢力均衡、集団安全保障、冷戦などを学ぶ。さらに、現代の国際問題として、一国主義と多国間主義の対立、平和、人間の安全保障、人道的介入（保護する責任）を取り上げ、考察する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際関係論の基本概念を説明できる。</li> <li>・国際関係における主要な理論を理解し、それぞれの特徴と違いを説明できる。</li> <li>・歴史的な国際秩序の変遷について説明ができ、それをもとに、国際システムの原理を概略的に理解できる。</li> <li>・現代の国際社会の現象や外交的課題について、習得した基礎知識をもとに自分で考え、自分の言葉で説明できる。</li> </ul>				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（5）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用して授業を実施する。また学生の質問、意見を求め、ともに考え、理解を深めていく双方向の授業展開にする。パワーポイントを用い、授業を進める。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	課題（リアクションペーパー、事後学習）、中間レポート、授業内試験により総合的に判断する。				
評価基準	課題（リアクションペーパー、事後学習）50点、中間レポート20点、授業内試験30点、合計100点				
試験・レポート等のフィードバック	課題（リアクションペーパー、事後学習）、中間レポート、授業内試験に関しては、出題の趣旨やポイントなどの解説を行う。良い内容は授業内で共有する。				
注意事項及び履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の地域、国、そして世界で起きている現象に対して常に疑問を持ち、好奇心を持つこと。</li> <li>・事前学習と事後学習を欠かさないこと。</li> </ul>				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、事前に理解しておくこと。 授業内容と関連する資料を調べた上で、自分の考えをまとめてみること。
授業内容	ガイダンス（授業の目的、授業計画、評価方法などについての説明）。国際関係（IR）について考える。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第2回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	基本概念① 主権国家、無政府状態（アナーキー）、行為主体（アクター）などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第3回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	基本概念② パワー、国益、安全保障のジレンマ、同盟などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第4回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	理論的アプローチ① リアリズム (Realism) について講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第5回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	理論的アプローチ② リベラリズム (Liberalism) について講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第6回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	理論的アプローチ③ コンストラクティヴィズム (Constructivism) について講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第7回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	国際秩序の構造 (歴史的変遷) ① 勢力均衡 (balance of power)、同盟などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第8回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	国際秩序の構造 (歴史的変遷) ② 集団安全保障 (collective security)、国際連合 (UN) などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第9回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	国際秩序の構造 (歴史的変遷) ③ 恐怖の均衡 (balance of terror)、冷戦などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第10回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	グローバル化と外交課題①—国連・国際機関の役割、脱国家アクターなどについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第11回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	グローバル化と外交課題②—国家の安全保障・人間の安全保障 (1) などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第12回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	グローバル化と外交課題③—平和と人間の安全保障 (2) について考える。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第13回	
事前学習	授業内容と関連する資料を調べること。
授業内容	グローバル化と外交課題④—人道的介入、保護する責任 (R2P) などについて講義する。
事後学習	本日の授業で学んだことや考えたことを文章にし、クラスプロファイルで提出すること。

参考文献	
第14回	
事前学習	授業内試験の準備をしておくこと。
授業内容	授業内試験の実施とその解説を行う。(学校の公認欠席による未受験者は個別応相談)
事後学習	授業内試験について振り返る。
参考文献	
第15回	
事前学習	授業全体を通じて学んだことをまとめてみる。
授業内容	授業の総括をする。中間レポート・授業内試験に関するフィードバックや「振り返り」発表を行う。
事後学習	授業全体を振り返り、到達目標の中で達成できたことを文章にまとめ、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<p>&lt;大DP-1&gt;【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】</p> <p>&lt;大DP1-(1)&gt;日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。</p> <p>&lt;大DP1-(2)&gt;情報リテラシーや数量的スキルを修得している。</p> <p>&lt;大DP1-(3)&gt;課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。</p> <p>&lt;大DP1-(4)&gt;自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。</p> <p>&lt;大DP1-(5)&gt;人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。</p> <p>&lt;大DP-2&gt;【専門教育分野における知識・技能・能力】</p> <p>&lt;大DP2-(1)&gt;自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。</p> <p>&lt;大DP2-(2)&gt;修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。</p>